

たまき社協だより

2012.11
No.44

編集・発行 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会
〒519-0433 玉城町勝田4876-1
TEL 0596(58)6915/FAX 0596(58)6916
ホームページ <http://www2.mie-net.ne.jp/tamasya/>
E-MAIL tamasya@amigo2.ne.jp

たまきの元気人・・・南勢ワークセンターわくわくジャムのみなさん



みんなに「美味しい」と
言ってもらえることが
嬉しいです

今回は、美味しいジャムをみなさんに届けている南勢ワークセンターの『わくわくジャム』をご紹介します。

わくわくジャムは、11年前に障がい者の就労支援の事業として、宮古にある南勢ワークセンターで誕生しました。

現在は、作業にあたる利用者が4名と職員2名でジャム作りを行っています。

季節毎の食材を仕込からビン詰め、ラベル貼りまで自分たちの手で丁寧に仕上げています。

体に優しいジャムづくりをモットーに、無添加の素材を生かし、甘さ控えめで果物本来の甘みが味わえるよう丹精込めて作っています。

町内のイベント開催時には、店頭販売も行っており、利用者の方々が大きな声と笑顔で接客にもあたってみえます。

「美味しかったよ」の一言が、みなさんの喜びと仕事への意欲につながっているようです。

購入は、南勢ワークセンター施設窓口、もしくは、電話番号058-00101、FAX058-00142、ホームページ <http://www.wakuwaku-jam.com> で受け付けています。

美味しい一瓶をあなたも味わってみてください。

玉城町高齢化率（平成24年9月末日現在）
22.5%（65歳以上人口3,500人）

※この広報は、共同募金配分金事業によって発行しております。

全国ボランティアフェスティバルみえ開催 報告

平成24年9月29日(土)～30日(日)

全国から三重に
ボランティアが集結

大型台風17号が近づく中、2000人近いボランティアや関係者が全国から三重に集い、先駆的な活動事例発表や情報交換、また相互交流も図りました。今回のテーマは、

『三重からみえる 未来の絆』

昨年東日本大震災をうけ、再確認された地域社会のつながりの重要性がコンセプトになっており、単なる災害に対するボランティア活動だけでなく、子供・高齢者問題、コミュニティづくり、就労問題など多岐にわたる課題から、

- ・福祉関係
- ・まちづくり
- ・災害
- ・文化・国際
- ・若者

以上、5つの部会を設け、また更に30の分科会が企画されていました。



みんなで一緒に考え、話し合い、共有することで、ボランティアの英気を養う大会となりました。

「全国ボランティアフェスティバルみえ」に参加して

【玉城町虹の会 代表 岩本秀子氏】

虹の会活動は来年20周年を迎えます。これを機に初心に帰りボランティア活動の実体を学びたく5名参加させて頂きました。

テーマ『三重からみえる未来の絆』のオープニングは、鈴木知事を交えてのトークでした。

その中で、東日本大震災で九死に一生を得た方黒田様からは、まず現場を見よ、人間を観る力、聞く力が深まる。顔を合わせ、手を握り寄り添えば、幸せ感や共に生きる力が湧いてくる。と輝く笑顔で語られました。

2日目に参加した分科会「美し国おこし三重」でも、ボランティアは下請けでなく、協創、協働で共に新たな喜びを創り出そうと「縁博みえ2014」を掲げていました。

幸せに生きるために、たった一人のパートナーでも手を繋ぎ、夢に向かって歩けばきつと輪が広がっていくと、力強い発表でした。

実り多い大会で、嵐の中にも美しい虹のかけ橋を夢見ながら一同帰路につきました。どうも有難うございました。

【玉城町防災災害ボランティア 片出壽哉氏】

9月29、30日の両日行われたボランティアフェスティバルに、私もボランティア経験者として、また今後の活動の参考にしたいと思い参加しました。

30日の分科会においては「災害ボランティアセンターの運営」について講師の講演及び熊野市、紀宝町、新宮市の担当者によるボランティアセンター立ち上げ時の実況や残された問題点についての発表がありました。いずれも地域のつながりの大切さを力説していました。台風17号の接近により、一部繰り上げて終了しましたが、良い勉強になりました。

私たちが暮らす社会には、震災や豪雨災害など様々な課題があり、その解決にはボランティア活動が不可欠です。

私も微力ながら、未来へつなぐランナーとして可能な限り、活動を継続したいと思います。



絆

私たちが、あの震災からあらためて感じた人と人とのつながりによって、地域での課題の緩和、解決を目指し、誰もが住みよい社会を創っていきましょ。あなたも自分の出来ることから始めてみませんか・・・ボランティア活動を。

ふくしを支える勉強会

ボランティアフェスティバルのように、活動者の方の生の声を聞いていただく機会を計画させて頂きました。

講師は、尾鷲市で子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らし続けるための支援をされている特定非営利活動法人あいい代表 湯浅しおりさんにお越しいただきます。



湯浅しおり氏

公的なサービスだけでなく人々の助け合いによって、人によさしい地域づくりを進めるための勉強会です。関心のある方は是非ご参加ください。

◆日時 11月18日(日)

13時30分～15時30分

◆内容 あいあいの活動報告

講師・・・特定非営利活動法人あいい

代表 湯浅しおり氏

◆場所 玉城町保健福祉会館ふれあいホール

町民体育祭でボランティ活動

小学生福祉体験教室

10月7日(日)に行われた町民体育祭の準備係を手伝うイベントボランティア体験を行いました。

今回のねらいは、町のイベントを手伝うことによって、地域の役に立つことを学びます。参加者は、4名。

子供たちは、競技で使う準備物を出したり、片づけたり、係の方の指示に従いながら、競技がスムーズに進められるよう良く動いてくれました。

また会場内を回り、赤い羽根共同募金の呼びかけも行いました。参加した子どもたちは、人の役に立てた喜びを感じていました。



ホッとサークル(介護者のつどい)

ホッとサークルは日頃の介護疲れの予防・解消を目的としたリフレッシュ事業です。今回は福祉用具の販売・レンタル等がされている福祉用具業者のケアフィットさんにお越しいただき、福祉用具についての勉強会を行いました。実演を交えての説明、福祉用具体験、そして介護食の試食など、具体的に知ることが出来、参加者は、詳しく楽しく勉強することが出来ました。その後はいつもの懇談会。日頃の想いを話し合い、共有し、ホッと一息つける時間を過ごしました。

「玉城町社会福祉大会」開催 平成25年2月11日(祝・月)

開催時間 10:00~14:00予定(雨天決行) **場 所** 玉城町保健福祉会館

- 内 容**
- ・社会福祉功労者表彰等
 - ・『福祉の作文』発表(小・中学生)
 - ・福祉協力校の活動発表
 - ・福祉講演会 ほか



昨年の様子

『福祉の標語』募集

テーマ「笑顔」

募集対象：高校生以上(但し、町内在住・在勤者)。応募作品は、本人が創作した未発表のものに限ります。

応募方法：所定の場所に応募箱を設置しますので、応募用紙にて受付けます。

その他に、ハガキ・FAX・メールにて受付けます。

募集期間：平成24年11月1日(木)~平成24年12月20日(木)

厳正な審査のうえ優秀作品を決定します。

入賞者には、平成25年2月11日(祝・月)の大会内で表彰いたします。(記念品進呈)

★募集箱設置場所(町内7か所)

玉城町社会福祉協議会(玉城町保健福祉会館)・玉城町役場・アスパア玉城・中央公民館・玉城病院・グッディ・Aコープ

『福祉の標語』応募用紙

氏 名	住 所	電 話
標 語		
標語への 思い	(標語をつくるにあたっての思い、きっかけ等)	

※標語は、広報などで使用することがあります。記載された個人情報は、適正に管理し、「福祉の標語募集」に関する連絡のためのみに利用します。

赤い羽根共同募金《街頭募金ありがとうございました》

10月1日から、全国一斉に赤い羽根共同募金が展開されています。

玉城町でも2日に街頭募金を町内4か所で実施し、60,652円の募金が寄せられました。

昨年度より多くの募金をお寄せいただき、通勤、通学中また買い物にいられた足を止めてご協力いただきありがとうございました。

また、12月22日(日)には、「歳末たすけあい運動」の街頭募金を予定しております。集められた募金は、歳末事業(ひとり暮らし高齢者安否確認事業)に活用されます。あたたかいご支援、ご協力よろしくお願い致します。

※自治区のみなさまにご協力をお願いしている募金については、後日改めて報告します。



元気ですたまき委員会

ふだんのくらしのしあわせ

～手をあげて しあわせハイタッチ!～

今年度は、コミュニケーションアップの啓発活動として、上記のネーミングを合言葉にハイタッチを町のイベントで展開しています。

これまでに、8月4日(土)に行われた商工会夏まつり、10月7日(日)に開催された第57回玉城町民体育祭で、取り組んできました。

夏まつりでは、来場者とハイタッチ。小さい子どもから大人の方まで多くの方が参加いただきました。

体育祭では、プログラムの中で、小学生を対象に、フラフープを使ったイス取りゲームを行いました。フラフープの中に、2人ずつが入り、入った者同士でハイタッチを行い、町長や教育長・教育委員長と子どもたちがふれ合う一場面もありました。

『手をあげて しあわせハイタッチ!』ハイタッチは、みんなを自然と笑顔にさせます。10月28日(日)アスピア玉城秋まつりの会場でも行う予定です。



商工会夏まつり

防災・災害ボランティアグループ



今年度設立した防災・災害ボランティアは、現在毎月1回定例会の形で、勉強会や意見交換を行っています。

防災倉庫や水源地など公共施設の説明を町の担当者から聞き、防災の現状について見学に行ったり。

また、田丸小学校 PTA の夏休み行事では、防災の勉強会が取り入れられ、「物干し竿と毛布を使った担架作り」などの体験の時間をお手伝いしました。

ボランティアとしてどのような事が出来、お手伝いして行けるのか、手探りしながら進めているところです。



香典返しを地域福祉にお役立ていただいておりますか

お香典返しをする代わりに、故人の遺志を社会福祉のために役立てたいとの思いを寄附という形で受け付け、社会福祉協議会が行う地域福祉活動事業の財源とさせていただきます。

地域の福祉向上のために使用し、弔問者への謝意に変えさせていただきます。

身近な

社協相談窓口ご案内

心配ごと相談

毎月10日、20日、30日 13:00～15:00

玉城町保健福祉会館で 予約不要

相談員 民生児童委員、人権擁護委員、行政相談員

ご寄附ありがとうございました。

7月～9月

匿名様2,454円